

## 〔感染症発生動向調査企画委員会情報〕

9月報

### インフルエンザ定点（小児科定点を含む）

#### インフルエンザ

9月の報告数は0件（前月比-、前年同月比-）でした。今年は6月以降患者発生なしが続いています。例年では9月以降に患者が増え始めていますので、引き続き監視が必要です。

### 小児科定点

#### （全体傾向）

9月の報告数は1,260件（前月比0.66、前年同月比0.33）でした。発生数が昨年の3分の1程度と低水準で推移しています。比較的多く報告された疾患は、感染性胃腸炎、ヘルパンギーナでした。

#### （疾患別傾向）

1. RSウイルス感染症 : 報告数は0件（前月比-、前年同月比-）でした。例年8月から10月は流行のピークですが、今年は8月、9月と患者の発生がありません。
2. 咽頭結膜熱 : 報告数は23件（前月比0.7、前年同月比0.3）でした。7月以降患者数は減少傾向にあります。この2年は冬季に患者数が増加していますので、今冬も監視が必要です。
3. A群溶連菌咽頭炎 : 報告数は73件（前月比1.0、前年同月比0.3）で、患者数は8月と同程度ですが、ここ3年間ではもっとも低い水準です。3～6歳で全体の6割を占めました（44/73）。菊池（5.20）地域からやや多く報告されました。
4. 感染性胃腸炎 : 報告数は408件（前月比1.1、前年同月比0.4）で、患者数は8月と同程度ですが、ここ3年間ではもっとも低い水準です。全ての年齢層で患者が発生しています。菊池（19.00）、山鹿（14.00）、有明（12.60）から比較的多くの報告がありました。
5. 水痘 : 報告数は32件（前月比0.8、前年同月比0.9）で、前月より減少していますが、前年と同じ水準です。1～5歳の患者が多くなっています。
6. 手足口病 : 報告数は77件（前月比0.8、前年同月比0.2）でした。今年は夏場のピークが見られないまま推移しました。1、2歳の患者が全体の6割（45/77）を占めました。御船（17.00）からの報告が多くなっています。
7. 伝染性紅斑 : 報告数は3件（前月比0.8、前年同月比0.0）で、今年は6月以降流行がありません。
8. 突発性発疹 : 報告数は144件（前月比1.1、前年同月比1.2）で、前月と大きな変動ありませんでした。
9. ヘルパンギーナ : 報告数は343件（前月比0.4、前年同月比1.0）でした。今年は8月に流行のピークがあり、9月は減少に転じて、患者発生数は例年と同水準となりました。1、2歳の患者が全体の7割弱を占めました（234/343）。人吉（13.67）、宇城（13.50）、天草（12.50）、菊池（12.40）、水俣（10.00）で患者が多くなっていました。
10. 流行性耳下腺炎 : 報告数は6件（前月比0.5、前年同月比0.1）でした。今年は7月以降減少し、ここ3年間ではもっとも患者数が少なくなっています。

## 眼科定点

1. 急性出血性結膜炎： 報告はありません。
2. 流行性角結膜炎： 報告数 14 件(前月比 0.5、前年同月 0.1)と前月比、前年比とも減少しています。熊本 13 件、有明 1 件の報告です。年齢別では 20～39 歳にピークがありますが、4 歳代にも多く発症しています。地区別では熊本 13 件、有明 1 件の報告です。

## STD定点

※平成 25 年 1 月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が 13 医療機関から 16 医療機関に増えました。

1. 性器クラミジア感染症：  
報告数69件(前月比1.1、前年同月比1.2)で、前月比、前年同月比とも微増しています。男女別は、男性46件、女性が23件でした。年齢別では、男性は15～59歳、女性は15～49歳の年齢層にみられました。地区別では、熊本が56件と圧倒的に多く、有明が4件、御船が3件、宇城、八代が2件、菊池、人吉が1件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症：  
報告数18件(前月比1.0、前年同月比0.8)で、前年同月比で減少しており、男女別は、男性が11件、女性は7件でした。年齢別では、男性が25～64歳、女性は20～59歳にみられています。地区別は、熊本が12件と多く、菊池に3件、御船、有明、宇城に各1件でした。
3. 尖圭コンジローマ：  
報告数は12件(前月比1.3、前年同月比1.0)で、前月比で増加しています。男女別では、男性が8件、女性が4件でした。年齢別では、男性は15歳～39歳、女性は15歳～59歳にみられています。地区別では、熊本は5件、宇城は3件、八代は2件、菊池、有明が各1件でした。
4. 淋菌感染症：  
報告数は20件(前月比1.0、前年同月比1.5)で、前年前月比で増加しています。男女別では、男性が19件で、女性は1件でした。年齢別では、男性は20～54歳にみられ、女性は20～24歳でした。地区別は、熊本が19件で全男性、有明の1件は女性でした。

## 基幹定点

(月報分)

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：  
報告数は17件(前月比：0.8、前年同月比：0.8、男女比：10/7)で減少傾向にあります。熊本(11)、人吉(4)、八代(2)でした。年齢分布としては70歳以上(11)、5-9歳(2)と引き続き高齢者で集中して多く検出されました。  
▼昨年並みの報告数で推移しています。
2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：  
報告数は1件(前月比：0.3、前年同月比：0.3、男女比：1/0)で減少傾向にあります。熊本(1)でした。年齢分布としては1-4歳(1)でした。  
▼例年より少なめに推移しています。
3. 薬剤耐性緑膿菌感染症：  
報告数は0件(前月比：-、前年同月比：-、男女比：-/-)で報告はありませんでした。  
▼例年同様に散発的な報告のみになります。

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎： 報告数は0件（前月比：-、前年同月比：-）で報告はありませんでした。  
▼例年より少ない経過です。
2. 無菌性髄膜炎： 報告数は0件（前月比：-、前年同月比：-）で報告はありませんでした。  
▼例年より少ない経過です。
3. マイコプラズマ肺炎： 報告数は0件（前月比：-、前年同月比：-）で報告はありませんでした。  
▼例年より少ない経過です。
4. クラミジア肺炎： 報告数は0件（前月比：-、前年同月比：-）で報告はありませんでした。  
▼例年同様に散発的な報告のみになります。
5. 感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）：  
報告数は0件（前月比：-、前年同月比：-）で報告はありませんでした。  
▼例年同様に検出はありません。

### 届け出対象感染症

指定感染症	： 新型コロナウイルス感染症	59件
1類感染症	： ありませんでした。	
2類感染症	： 結核	16件
3類感染症	： 腸管出血性大腸菌感染症	3件
4類感染症	： A型肝炎	1件
	レジオネラ症	6件
	日本紅斑熱	3件
5類感染症	： カルバペネム耐性腸内細菌感染症	2件
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1件
	後天性免疫不全症候群	1件
	侵襲性肺炎球菌感染症	1件
	梅毒	9件
	百日咳	4件